

自治協ニュース

第0206号
発行者
八本松住民
自治協議会
R02. 11. 20

八本松自治協
福祉委員会

令和2年度 福祉講演会

地域づくりと仲間づくり

地域づくり 人材不足解消が急務 カギは「承認欲求」を満たすこと

10月18日、自治協福祉委員会（委員長 信国武登）は、「ひと創研」代表の堀中さん（舞台中央）の講演を聴く参加者の皆さん（50人）（経営コンサルタント・心理カウンセラー）を招き、八本松地域センターで福祉講演会を開催した。



「ひと創研」代表の堀中さん（舞台中央）の講演を聴く参加者の皆さん（50人）

この講演会は、「福祉による地域づくり」が求められているなか、次世代の人材不足が喫緊の課題となっている。そのため、東広島市社会福祉協議会の協力を得て「地域づくりと仲間づくり」と題し、次世代の方の地域デビューを促進するために開かれたもの。

健康長寿の3要素

講演で、堀中さんは、「現在、平均寿命が延び、人生100年時代を迎えようとしている。今後、必要なのは健康寿命



「心の健康は、人の役に立っているという喜びから」と強調する堀中さん

を延ばすことで、それには①運動 ②食生活 ③社会参加の三つの要素が必須。

社会参加が心の健康のもと

特に、社会参加は重要で、小さな社会でも人の役に立ち認めてもらえ「承認欲求」を満たすことがモチベーションを生み、「心の健康づくり」に繋がり、健康寿命を延ばすことができる」と生物・医学的側面や心理学側面から分かりやすく解説した。

大切なきっかけづくり

更に、「ボランティア等の社会参加は、自身の健康寿命を延

ばすだけでなく、人の役に立ち地域づくりに貢献することとなる。そうした社会参加を進めるには、地域にどんな人が居られ、その方に合った地域デビューの機会を作ってあげることが大切です」と強調した。

最後に、信国委員長は、自身の地域デビューに触れ、「きっかけを作っていたただい方に感謝する。皆さんも、今日の講演を参考に、きっかけづくりを進めていただき、何でも言える仲間を増やしてもらい、この地域が元気で活き活きとした街になるよう願っています」と述べ、講演会を終了した。

また、この講演会のアンケート調査（41人回答）では、満足との回答が78%を占め、「次の世代

地域にかくれている人の地域デビューについて グループでフリーキングする参加者



へのパトナタッチもさることながら、自分の今後の生き方について大きな示唆を受けた」と多くの方が回答を寄せられていた。

東広島市消防局長から感謝状

八本松飯田 常光聡さん 高橋哲さんら表彰

車両火災は6月25日午後4時20分ごろ、竹原市田万里の国道2号で乗用車が側壁

に衝突し発生。通りに合わせた常光聡さんや高橋哲さんらは助手席から運転手の男



表彰を受けた高橋哲さん（左から3人目）と常光聡さん（左から4人目）

10月23日（金）東広島市消防局において、車両火災の初期消火や人命救助を行った八本松飯田の常光聡さん、高橋哲さんら7名の方に石丸泰三消防局長（写真左から2人目）から感謝状が贈られた。

車両火災で人命救助 二次災害防止も

性を救出。さらに、消火活動を行うとともに、後続車に事故を知らせ車両誘導を行うなど、突然の事故の現場で適切な行動をとった。贈呈式で感謝状を受け取った常光さんは、「二次災害を未然に防ぐことができ、本当に良かった」と振り返った。なお、ほかに表彰を受けられた方は、110番と119番通報した高原さん（広島市 写真右から3人目）、救出と消火に加わった中村さん（福山市 写真右から4人目）の2名。さらに3名（広島市、廿日市市、呉市）の方にも感謝状が贈られた。

イトーピア地区は、急傾斜地や河川がない地形で、大雨による災害の危険性が比較的低い事から、この日の講演（参加者13人）は「南海トラフ巨大地震」への備えを学ぶこととなった。講演で中川さんは、



「まず、わが家の危険度や地域の危険度を知ろう」と話す中川さん

「この地震は、30年以内に70〜80%の確率で起こるとされ、東広島市でも震度5強〜6弱が想定されている。自分の命を守るには、準備が何より大切」と述べ、その対応策について次のとおり説明。

- (1) わが家の危険度（耐震性等）やみんなで街歩きをして地域の危険度を知ること。
- (2) 家具を固定し転倒や移動を防止すること。
- (3) 地震発生直後、命を守る行動をすること。
- (4) 避難は、自宅の損壊程度・火災の危険性・余震による危険性・生活への支障等があれば、安全な避

難先へ避難すること。以上の4項目について具体的な写真や図で分かりやすく説明した。また、「災害は一瞬のうちにやって来ます。地震時の家族の役割分担や連絡方法、家族の集合場所や避難場所、持ち出し袋の作成等、事前に家族会議で決めて準備しておくことが命を守るために最も重要」と強調した。最後に、谷口防災会長は、「地震はいつ起こるか分からない。今日お話ししていただいたことについて、早速ご家庭でも話し合わせ地震に対する備えを行っていただきたい」と述べ終った。

「南海トラフ巨大地震」へ備えて 防災講演会 事前の準備が命を守る ぜひ家族会議を

イトーピア地区
自主防災会